

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ひまわりの家		
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 4,005人(前年度比 97.8%) 令和5年度 4,096人(前年度比 92.6%) 令和4年度 4,421人(前年度比 95.5%)		
	《事業》 主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援を行うことで、福祉の増進を図る。		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 81,324千円(77,788千円) ・ その他市が負担した費用 53千円(69千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 68,072千円(69,203千円) ・ その他収入 0千円(0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年度は、11月から12月にかけてアンケートを実施。 施設運営委員会を年2回、保護者会を年5回実施している。また、担当者会議等の面談時に要望等の聞き取りを行っている。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。 また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。 他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。	42/42
II 施設の運営管理体制	法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。	25/25
III 施設・設備の維持管理	老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。 また、感染症対策で小まめな手洗いや換気をしながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。	24/24
IV サービスの質の向上	職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。 また、支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会を継続して実施する等、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者等の意見を反映した施設運営に努めている。 利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。	28/28
V 施設固有の基準	指定管理施設としての基準を遵守しながら、医療的ケアを必要とする利用者の障害特性の細部までの把握に努め、支援の充実に努めている。 利用者本位の支援に努めつつ、サービスの質の向上を目的とした取組みも行っている。	5/5

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
1 利用者の支援について 個別支援計画とは別に、意思決定支援に基づく利用者個々のプログラムを作成して、情緒的安定が図れるような支援を行った。また、施設の長寿命化工事に伴う仮移転先は、各部屋の間隔が広く職員が分散してしまう等、利用者支援においては決して合理的とは言えない場所であったが、これまで同様に、支援に取り組み、情緒的安定の保持や安全の確保について、職員間で支援内容を確認しながら対応した。加えて、相談支援事業所、グループホーム及びショートステイ先等の関係機関と情報を共有しながら、利用者の支援を行った。 2 活動について 市社協の方針の一つである社会的資源の活用や施設間でお互いの利用者が良い刺激を受ける活動として、近隣の高齢者施設、障害者施設等、他の法人と合同で清掃活動の実施やフラワーロード設営、施設のロビーコンサートの鑑賞、本会が運営する他施設との交流会の実施などにも注力した。 さらに、実習生や社会体験の受入れを積極的に行い、福祉人材の育成や障害者理解にも努めた。 3 施設運営について 運営委員会を年2回開催し、日々の支援状況や、活動の様子について幅広いご意見をいただき、施設運営に反映させた。保護者とは年4回の意見交換を行い、お互いの信頼関係を保持しながらより良好な関係をつくり施設運営を行った。運営委員及び保護者からの評価も良好であるが、それに甘んじる事なく今後も質の高い支援を継続して行っていく。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。 利用者や家族のニーズに応じた支援を行うとともに、医療的ケアを必要とするなどの質の高いサービスに応えられるよう、人材育成に力を入れているほか、看護師等による支援により利用者の個々の状態に合わせたサービス提供が行われている。 また、今年度は施設の大規模改修工事のため一時移転の対応があったが、環境の変化が利用者の負担にならないよう寄り添った対応を行った。 支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会も継続して実施しているほか、地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課